

2018 年度
日本学生ライフル射撃連盟
理事会及び定時総会
議案書



2018 年 12 月 9 日 (日)

午前 10 時 00 分～

明治大学 駿河台キャンパス 紫紺館

議事次第	ページ	
	議案書	表
<出席確認> 代表者/理事一覧		1
<報告事項>		
2018年度 幹事/委員	3	
1 2018年度 事業報告	4、5	
2 2018年度 選手強化委員会事業報告	6、7	13
3 2018年度 競技普及委員会事業報告	7	2
4 2018年度 決算報告	7	
1) 日本学生選抜収支報告		3
2) 全日本学生収支報告		4
3) 収支計算書(一般会務/選手強化/競技普及/記録顕彰会計)		5
4) 積立金/平尾・芹澤・林崎賞/備品目録		6
5 監査報告		
6 その他の報告事項	8、9、10	7、8
7 役員期中退任	10	
<審議事項>		
8 2019年度 幹事/委員案	11	
9 2019年度 事業計画案等	12、13	9、10
10 2019年度 選手強化委員会事業計画案	14、15	
11 2019年度 競技普及委員会事業計画案	16	11
12 予算にかかわる審議事項	16	
13 2019年度 予算案	17	12
14 その他	17	

2018年度 幹事/委員 幹事交代等に関する報告

幹事長	深澤 佑樹 (中央)	
副幹事長	岡田 亜美 (立教)	長谷川 達也 (北海道)
	谷口 涼 (立教)	川本 峻介 (愛知)
	矢野 義己 (関西)	折口 賢太郎 (佐賀)
会計幹事	平野 りさ (慶應義塾)	→ 会計委員 根本 浩輔
企画幹事	福富 賢太 (日本)	
渉外幹事	田曾 雅也 (早稲田)	→ 庶務幹事 高木 裕貴 兼務
庶務幹事	高木 裕貴 (明治)	
総務幹事	若林 万由子 (慶應義塾)	→ 副幹事長 谷口 涼 兼務
段級幹事	綾部 創太郎 (学習院)	
競技審判長	岡田 亜美 (立教)	
・選手強化委員会		
委員長	細田 航 (法政)	
選強補佐	江田 和樹 (日本)	委員長と会計 代行
会計	細田 航 (法政)	
・競技普及委員会		
委員長	大和田 美琴 (日本)	
副委員長	太田 凌平 (北海道)	糟谷 寿々 (立正)
	川本 峻介 (愛知)	竹中 克幸 (京都産業)
	折口 賢太郎 (佐賀)	
会計	大和田 美琴 (日本)	

1 2018年度 事業報告

幹事長 深澤 佑樹

☆7月6日(土)～8日(日) 第22回 日本学生選抜スポーツ射撃競技大会

(能勢射撃場)

【開催を中止した】

中止理由：長時間の大雨により危険回避のため

中止経緯：7月5日＝大会前日、練習日

- ・未明から雨が降り出す、午前6時までに累計61.5mm
- ・午前10時ころの降雨量 18.5mm/時間
- ・午後1時 被害発生のため通行止め

能勢町杉原(射撃場の西側)～京都府界

国道173号線能勢町山辺(北側)～天王(北側)

- ・午後1時 大雨警戒のため能勢町全域避難勧告発令
- ・午後2時ころの風速 南南西9.1m/s
- ・気象庁は大雨を降らせ続ける「線状降水帯」発生の異例な緊急会見を開催、近畿地方の警戒図では「極めて危険」とされる紫色で表示された地域に能勢町が含まれる
- ・午後6時ころ開会式を遅らせるか会長と幹事長とで検討
- ・午後6時45分 通行規制の雨量基準超過のため通行止め

能勢町天王～京都府界

- ・午後8時時点 降雨量28.5mm/時間、風速 南南西8.5m/s
- ・午後9時時点 降雨量26.0mm/時間、風速 南東2.7m/s

7月6日＝大会初日

- ・午前0時 避難勧告解除の見込み、土砂災害区域の広がり、雨が止む見通しなどの情報を基に中止か決行か午前6時半に判断すると決める 各校には午前7時に中止か決行の通知をする旨連絡する
- ・午前1時 能勢町の南東側に位置する猪名川町に宿泊する大学が河川の増水により避難所に移動との情報が入る
- ・午前6時半 雨の勢いはおさまらず、終日降る見通しのため選抜大会は全日程中止を決断、各校に通知する

- ・能勢町の総降雨量467mm(7月5日から6日午後4時までの間)

7月の観測史上最大を記録

- ・射撃場入口に通じる最後の坂道の路側が崩落し、ガードレールや電柱が崖側に傾き、通行止め 北側に駐車場裏につながる車1車線ほどの道があり入場は可能、道路補修・通行止め解除は未定

☆10月18日(木) スポーツ庁後援 文部科学大臣賞争奪
～10月21日(日) 全日本学生スポーツ射撃選手権大会
第65回男子総合／第31回女子総合
(長瀬射撃場)

【大会報告】63校、のべ590名参加

・10m Air Rifle

男子 210名参加 団体 27校 (優勝：日本 準優勝：東洋 第三位：中央)
(1位：遠藤雅也 2位：渡辺琉仁 3位：八川綾佑)

女子 140名参加 団体 20校 (優勝：明治 準優勝：同志社 第三位：法政)
日本刀＝山川賞：明治
(1位：一ノ渡桜 2位：千葉朔海 3位：中口遥)

・50m Rifle 3Positions

男子 65名参加 団体 13校 (優勝：日本 準優勝：東洋 第三位：中央)
火縄銃＝緒方賞：日本
(1位：遠藤雅也 2位：八川綾佑 3位：山本拓生)

女子 55名参加 団体 10校 (優勝：明治 準優勝：同志社 第三位：日本)
(1位：千葉朔海 2位：阿部有沙 3位：早川実沙)

・10m Air Pistol

男子 14名参加 (1位：佐藤匡哉 2位：河野智 3位：小西将平)
女子 16名参加 (1位：佐成優偉麗 2位：田畑実菜 3位：山田愛)

・50m Rifle Prone

男女 90名参加 (1位：山本拓生 2位：中村優汰 3位：井尻圭亮)

・10m Air Rifle 平尾賞：遠藤雅也 一ノ渡桜

・50m Rifle 3Positions 芹澤賞：山本拓生 劉炫慈

・50m Rifle Prone 林崎賞：山本拓生

・男子総合団体 8校 (優勝：日本 準優勝：東洋 第三位：中央)

・女子総合団体 8校 (優勝：明治 準優勝：同志社 第三位：早稲田)

・師尾記念賞 25Pt 日本大学

成績表は議事録配布時に添付予定

<成績発表の失態>

10/27 10m Air Pistol Women 3位を間違えて発表した
競技普及委員はセンター数を多い順に並べず成績表を作成
センター数表示のない成績表で RTS-JURY が確認、誤発表
11/5 日ラへ報告する際に発覚、訂正 関係者に謝罪

☆12月9日(日) 理事会及び総会 (明治大学駿河台キャンパス紫紺館)

2 2018 年度 選手強化委員会事業報告

選手強化委員長代行 江田 和樹

1)

前年度に引き続き、2017 年度十傑選手のうち 2018 度の現役学生を対象に事業を実施した。参加申し込みは男子 6、女子 10(昨年申込計 21)名、大会終了後 2 週間以内に報告書を提出した参加者は男子 5、女子 4(昨年参加計 12)名であった。

事業参加した指定強化選手の所属は日本大学、明治大学、同志社大学の 3 校。

選手強化担当者が急遽変わり、期中に既報分を含めて再報するように連絡をしたものの、新規の報告はなく一昨年、昨年と、年々参加者が減少している。

今年度の実績は以下のとおりである。

A=10m Air Rifle に比べ 3P=50m Rifle の成績は低迷している。

【参加実績】

大会名	競技日程	場所	人数	最高順位
全日本 10m	3/17～18	藤枝	4 名	A/1
4 月 NT 選考会	4/7～8	長瀬	8 名	A/1 3P/15
全日本 50m 選抜	4/14～15	能勢	0 名	
6 月 NT 選考会	6/9～10	胎内	4 名	A/6
11 月 NT 選考会	11/10～11	能勢	0 名	
全日本 50m 選抜 10m	10/26～28	長瀬	3 名	A/5 3P/26

【昨年度実績】 (参考)

大会名	競技日程	場所	人数	最高順位
全日本 10m	3/18～19	藤枝	2 名	A/ 1
4 月 NT 選考会	4/7～9	能勢	3 名	A/ 1 3P/12
全日本 50m 選抜	4/23～23	豊田	1 名	3P/ 4
7 月 NT 選考会	7/6～8	胎内	1 名	A/26 3P/ 8
9 月 NT 選考会	9/7～9	長瀬	0 名	
全日本 50m 選抜 10m	10/27～29	能勢	0 名	

2) 7th World University Shooting Sport Championship 2018 (日ヲ派遣)
2018年3月14-18日 MALAYSIA

表13

3 2018 年度 競技普及委員会事業報告

競技普及委員長 大和田美琴
表 2

4 2018 年度 決算報告

会計補佐(委員) 根本 浩輔
選手強化委員長代行 江田 和樹
競技普及委員長 大和田美琴

- 1) 日本学生選抜収支報告 明細は表3～6
- 2) 全日本学生収支報告
- 3) 収支計算書(一般会務/選手強化/競技普及/記録顕彰会計)
- 4) 積立金/平尾・芹澤・林崎賞/備品目録

5 監査報告

監事

6 その他報告事項

1) 加盟登録状況 2018年11月1日現在

総数1140名 北海道/95 関東/590 中部/121 関西/272 九州/62
前年比 -81 -12 -17 -33 -16 -3

【団体加盟校 52+※6校 1113名】 二重線は新規 ※団体加盟費納入猶予

- 北海学園、北海道、北海道科学
- 青山学院、学習院、関東学院、慶應義塾、國學院、国士舘、駒澤、芝浦工業、専修、千葉、千葉工業、中央、筑波、東海、東京、東京経済、東北学院、東北工業、東洋、日大工学部、日本、八戸工業、防衛大学校、法政、明治、明治学院、山梨学院、立教、立正、早稲田
- 愛知、愛知学院、金沢、名古屋、名古屋工業、名城
- 大阪、大阪産業、大阪商業、岡山商科、関西、関西学院、京都、京都産業、近畿、甲南、神戸、同志社、徳島、立命館
- 鹿児島国際、佐賀、崇城、第一工業、長崎

【個人加盟 計4名】

- 北海道科学大学短期大学部/成澤、愛知淑徳/齊藤、関西福祉科学/前田、志學館/久留米

【個人登録 計23名】 再入会

- 山形/中瀬、東京電機/江口、新潟医療福祉/安孫子、朝日/足立、岐阜/大橋、信州/宮崎、常葉/杉崎、中部/山田、大阪府立/岡部、比治山/庄野、びわこ学院/田畑、四国/日浦・筒井・前川・家城、大分/山田、大分芸術文化短期/高野、西日本工業/佐藤、日本文理/丸山、熊本保健科学/渡邊、筑紫女学園/西、熊本学園/溝口、福岡工業/平

【退会】

- 北海商科、愛知工業、神戸学院、龍谷短期、熊本、長崎純心、福岡

2) 競技規則集(以下、ルールブックと表記)配布

補遺版配布 : 規則変更追加を記載した小冊子を継続会員全員に配布

5月上旬 北/37 東/272 中/91 西/178 九/34 計/612

規則集配布 : 規則集に補遺版をつけて新入会員に配布

7月~10月 北/25 東/150 中/34 西/77 九/16 計/302

3) ルールブックの電子ブック化

日ラ総務委員会で検討することになったが全くその気配がないので実施できず

4) 2018年 十傑確認

11月20日連盟ホームページに掲出、正誤受付後11月29日確定

表7

5) 2018年度 段級登録実績、記録公認料確認

今年度の未納支部はない

2017年中部支部新人大会公認料は2018年に加えて計上した

表8

6) 2017(平成29)年度 日ラ退会にともなう推薦の取り消し報告

日ラ推薦委員会はライフル銃の推薦取り消しを7、11月に実施した

取消件数は合計329件 そのうち大学生(主に卒業生)は69件

大学生の内訳 北海道1 学習院3** 慶應7*** 國學院4** 駒澤4 専修2*
千葉工業2** 中央2 東北学院1 東洋5 防衛2** 法政4*** 明治1*
明学3 立教5***** 早稲田4*** 名城1 大阪2 関西1* 関学3* 京都2
京産1* 甲南2** 同志社3 立命1 都道府県所属3**

69件中放銃報告*を提出しているのは31件、未提出38件

7) 所持放銃報告の徹底と日ラ移籍者の早期手続きの勧め

推薦を取得して銃を所持したら、推薦申請団体に必ず所持報告書を出すこと。譲渡した場合も放銃報告をすること。

また、卒業後も推薦銃を所持し続ける者は新年度3カ月以内に都道府県協会に移籍を済ませること。期限を過ぎると退会扱いとなり推薦が取り消され、所持できなくなる。

各校は被推薦銃を所持して卒業する者に日ラ会員継続手続きは6月末までに行うよう通知すること。取消の事前通知はしないので、会費未納者は手続き期間が過ぎたら自動的に推薦が取り消される十分に留意のこと

参考

<公益社団法人 日本ライフル射撃協会 定款>

(会員の資格の停止及び喪失)

第11条 2 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

(1)から(5)・・・略

(6) 会費が当該年度に入り3ヶ月以上滞納されたとき。

<公益社団法人 日本ライフル射撃協会 会員規定>

(会費)

第4条 本協会の正会員、普通会員、および賛助会員は、定款第10条に基づき、次項のとおり入会時に入会金ならびに年会費を、また、以後毎年前年度末までに次の年会費を納入しなければならない。

2と3・・・略

4 正会員、普通会員、および賛助会員が年会費を当該年度に入り3ヶ月以上滞納したときは、定款第11条「会員資格停止および喪失」が摘要される。

<ライフル銃の所持に関する推薦基準要綱>

1. 2. 3. 4. ...略

5. 推薦の取り消し

① 日本ライフル射撃協会の会員でなくなったとき

②～④...略

7) 学連加盟登録手続き 担当者 古川 耕平

団体/個人加盟は昨年に引き続き、会員継続手続きを2019年1月に完了する支部総会時に配布済みの名簿に加筆し継続者名簿とする 黒ボールペン使用

・卒業者は名前の前の番号を○で囲む ⑫

・途中退部者は名前に横線を引く 学連—一郎

・従って何も書き加えない者が会員継続者 学年は氏名右側に数字を記入

名簿提出時期:支部は1月19日までに取りまとめ1月26日までに

日ラ気付「学連会員継続」係と明記し、日ラへ送付

会費納入時期:名簿をもとに日ラと学連の会費納入額を算出し各校に通知する

2月上旬、各支部幹事長経由で各校にメール配信

3月末までに日ラ会員証を各支部へ送付する予定

個人登録者は支部幹事長が責任をもって所定の申請書を1月26日までに提出

7 役員期中退任 2019年度

幹事長 深澤 佑樹

関東選出理事退任：國學院大學 黒羽真信（本人の申し出による）

8 2019年度 幹事/委員案

幹事長	江田 和樹 (日本)	
副幹事長	古川 耕平 (専修)	西村 怜 (北海道)
	澤地 研自 (明治)	桐嶺 真琴 (名古屋)
	鳥山 拓哉 (同志社)	松岡 慶 (崇城)
会計幹事	根本 浩輔 (慶應義塾)	
企画幹事	川上健太郎 (立教)	
渉外幹事	古川 耕平 (専修)	
庶務幹事	萩原 雅貴 (学習院)	
総務幹事	濱 光一 (慶應義塾)	
段級幹事	池本 悠希 (立正)	
競技審判長	西村 大輔 (東洋)	
・選手強化委員会		
委員長	金子 侑樹 (青山学院)	
選強補佐	磯田 和貴 (日本)	
会計	磯田 和貴 (日本)	
・競技普及委員会		
委員長	萩原 雅貴 (学習院)	
副委員長	久保田美羽 (北海道)	神谷 沙絵 (法政)
	山田 貴也 (名城)	横田 大輔 (大阪)
	長尾 駿 (崇城)	
会計	萩原 雅貴 (学習院)	

9 2018年度 事業計画案

2019年度幹事長 江田 和樹

1) 2019年は開催規模維持のため2018年と同会場。

会場が異なるたびに使用できる射座数が増減し、出場枠や予選基準点が大きく変わるの望ましくない、学生選抜（以下、選抜と表記）全日本学生（以下、インカレと表記）の会場は固定すべきとの提案をインカレ代表者会議で受け、能勢インカレが長瀬と伍して実施できるか関西支部から計画案の提出を受けた。

出場人数を維持しようとする10mは14回転（長瀬は9）、開始8:30から終了17:45（長瀬初日は9:00~16:45）まで長時間を要するなど即決するには課題が多いので2020年に開催するかの検討は継続し、2019年は2018年と同じ会場で開催したい

2) 競技会日程 下記※参考大会予定を考慮し日程を決めた

◎7月13日（土） 第23回 日本学生選抜スポーツ射撃競技大会
～15日（祝/月） （能勢射撃場）
Mixed Team Event 実施

大会要項参照 表9

◎10月10日（木） 文部科学大臣賞争奪
～13日（日） 2019年 全日本学生スポーツ射撃選手権大会
第66回男子総合／第32回女子総合
（長瀬射撃場）

〈総合団体出場校〉男子8、女子8

〈種目別団体出場校〉前年同規模を計画

大会要項参照 表10

※参考

- 7月 4日（木）～ 9日（火） 30th Summer Universiade 2019 Napoli
- 9月 6日（土）～ 8日（日） JOC Junior Olympic Cup 長瀬
ISSF Junior Championship
- 10月 4日（金）～ 7日（月） いきいき茨城ゆめ国体 桜川市
- 10月 17日（木）～20日（日） 全日本50m / 全日本選抜10m 能勢
- ◎12月8日（日） 理事会・総会 （場所 都内）

3) 選抜、インカレの 10m Air Pistol Final 実施

実績	選抜	インカレ	数字は出場数(申込数)
2016	M12(12) W9/(9)	M12(13) W10(10)	DNS 1
2017	M12(14) W9/(11)	M12(14)* W13(13)	DNS 5 *DSQ 1
2018	---	M13(14)* W16(16)	*DSQ 1

AP 種目導入 3 年目で参加者総数は 30 人に達した。

2019 年は MW 合わせた順位の上位 8 名で Final を実施したい

4) インカレの開会式は前日夕刻挙行

初日と二日目は射群が多く 50m 種目（以下、SB と表記）は 9 時に射撃開始しても終了が 17 時になるので 30 分繰上げ、開始を 8 時半、Athletes to the Line を 8 時としたい、実際に 2018 年は初日の三姿勢が撃ち終わる 17 時ころは暗くなり、標的が見つらいたため急きょ二日目、三日目は開始時刻を繰り上げた。

2018 年の大会前日公式練習日に射座を申し込んだ大学は出場校 63 校のうち 33 校。団体出場校で前日練習の申込みがないのは 11 校(北海学園、青山学院、学習院、専修、千葉工業、東京経済、東北学院、名古屋工業、大阪、岡山商科、京都)、他の団体校は全て前日練習のために射撃場にいるので、15 時に公式練習が終了したあと 16 時から 15 分程度の開会式を行い、初日の朝から競技に専念したい。

5) 2020 年のインカレは能勢開催の検討

①は ARAP ①は SB3× 1は Prone Mは男子 Wは女子 Fは Final

	2018 長瀬	2020 能勢(2018 同規模)	2020 能勢(AR2 割減)
初 AR	9:00-16:15④	8:30-17:45⑤	9:00-16:15④
SB	8:30-16:30②1	8:30-16:45②1	8:30-16:45②1
2 AR	9:00-14:15③	8:30-17:45⑤	9:00-16:15④
SB	8:30-16:30②1	8:30-16:45②1	8:30-16:45②1
3 AR	9:00-② WF13:30~	8:30-15:45④APF16:45	9:00-14:15③APF15:30
SB	8:30-①1 MF14:30~	9:00-15:30①2	9:00-15:30①2
4 AR	8:30-②APF/MF14:00~	9:00-①WF/MF13:15~	9:00-①WF/MF13:15~
SB	WF9:30~	WF9:00~ MF11:00~	WF9:00~ MF11:00~

能勢インカレの場合、長瀬と同規模にするには AR の射群を増やす必要があり大会前半は ATL から最終射群終了まで 9 時間 45 分と長時間を要し学連員に負担がかかる。AR 参加者を 2 割減にすると時間拘束は長瀬とあまり変わらないどちらを選択するか 検討資料---別紙参照

10 2019年度 選手強化委員会事業計画案

2019年度選手強化委員長 金子 侑樹

1)

2019年度は2020年東京オリンピックを控え、現役学生がナショナルチーム(以下、NT と表記)入りを目指し、海外競技会の日本代表選手に選ばれるための重要な年である。

事業参加が減少している現行制度を見直して、対象競技会を NT 選考記録会、東京 2020 選手選考会と全日本／選抜大会に限定し、成績に応じた補助とする。

【目的】向上心があり、有望・有能な選手の支援

【目標】日ラジュニア育成チーム、ナショナルチームに一人でも多くの学生を送り込む

【対象】卒業生を除く 2018 年十傑入りした学生を指定強化選手とする

なお、2019 年の支部春季・秋季大会と連盟選抜大会で基準点(2018 年十傑 1 位を超える点数)に達した選手についても、本人からの申請により強化選手に追加指定することがある。

【主眼】NT 選考記録会、東京 2020 選手選考会、全日本／選抜大会で上位入賞を目指す選手の支援

【内容】

<対象試合>

3 月 ライフルナショナルチーム選考記録会 10m / 50m

3 月 全日本 / 10m

4 月 ライフルナショナルチーム選考記録会 10m / 50m

4 月 全日本選抜 / 50m

6 月 ライフルナショナルチーム選考記録会 10m/ 50m

9 月 ライフルナショナルチーム選考記録会 10m 〈アジア選手権予選〉

9 月 東京 2020 選手選考会 50m 〈アジア選手権予選〉

10 月 全日本 / 50m、選抜 / 10m

《参加費補助》

対象試合に参加(DNS は含まない)した場合、参加費を補助する。

《宿泊費補助》

居住地から 101km 離れている大会に参加の場合は出場日前日の宿泊費を補助。実費ではなく定額支給、¥8,000/泊。

《交通費補助》

居住地の都道府県庁所在地を起点とし JR または私鉄の最寄り駅から会場地最寄り駅までの最短経路。片道 101km 以上は学割乗車料金を適用(10 円未満は四捨五入)。金額は選手強化委員会で算出する金額。

対象試合の 3 位までの入賞者には往復の金額、4 位から 8 位までに入賞したものは片道の金額を補助する。ただしダブルマッチの場合は合計得点順位を対象とする。

《重要注意事項》

支援金を受ける選手は大学の補助金、射撃部の活動費を受けても構わないが、当該試合の学連選強支援金と国体強化費など都道府県射撃協会や都道府県体育協会の公金の重複受け取りはできない。公金と二重に受領した場合は権利の一切を停止し、既出金の返還を求める。

前年度同様、該当する大会が終了してから二週間以内に参加報告書が選手強化委員長のもとに届いていない場合は、各種補助は行わない。選手強化委員会は、選手強化事業参加申し込みで念押しするが、個々の大会の報告書は催促しない。

《事業参加方法》

事前申し込みは不要(例年、申込者の分だけ資料を用意して報告を待つが、実際に来るのは半分程度で無駄が多いため事前申し込みは廃止)。

対象試合に参加したら最終日起算 2 週間以内に必要事項をメール報告する、あて先は hactoc8919@ybb.ne.jp と に同報、受信した旨の返信メールを受けて、報告は完了する。

送信したが返信がない場合は再度送信し、返信をもらうこと。それがなければ補助対象とならないので参加者は十分にすること。

2) 30th Summer Universiade Napoli (ITA), 3 - 14 July 2019 (JOC 派遣)

「代表選手は原則として現役大学生とし、将来国際大会で活躍が期待できるものとして推薦された中から選考する」(JOC 日本代表選手団編成方針より)

日方は 2019 年 4 月(3/9-10NT 選考会・海南、3/15-17 全日本 10m・石巻、4/6-7NT 選考会終了)時点のランキングをもとに JOC に推薦する。

11 2019 年度 競技普及委員会事業計画案

2019 年度競技普及委員長 萩原 雅貴
表 11

12 予算にかかわる審議事項

1) 会費区分け変更

会費 3,700 円の会務事業別区分けを変更する。一般会務会計は 1,700 円から 2,500 円に、選手強化会計は 1,500 円から 700 円に変更する。競技普及会計の 500 円は変更なく総額も変わらない。

目的は 2020 東京オリンピック・パラリンピックの競技役員 (National Technical officer 以下、NTO と表記) とボランティア (Sport Specific Volunteers 以下、SSV と表記) に登用される学生連盟から登録した者への支援。

日ラから学連に NTO、SSV の候補者を推薦するよう依頼があり、連盟は支部を通じて全加盟校あて募集をした。関東中心であるが 59 名の名前が挙がり日ラに推薦した。これらの学生は学連総意の代表者であり日ラを支える大事な人材である。

2020 年に行われる Test Event(4/17-26)、Olympic(7/24-8/9)、Paralympics (8/25-9/6)に出役する SSV は 1,000 円の交通費と昼食、ユニフォーム以外はすべて自弁であり NTO もおそらく薄謝ではないかと推測するので、ひとり 1 日 1,000 円の日当を学連から支給したい。その分を留保するために一般会務会計への配分を多くした。具体的な支援策は 2019 年総会で議案とする。

(留保予定額¥2,000,000)

2) 競技規則集の配布

日ラからルールブックの電子ブック化許可が早期に下りそうもないので引き続き 2019 年新入会員(団体加盟、個人加盟者)に配布する。¥3,100×400 冊

予算¥1,240,000

3) UNIVAS(大学スポーツ協会)への加入

2 年前から文部科学省・スポーツ庁が創設を目指して活動して来た日本版 NCAA(全米スポーツ協会)の UNIVAS が来春誕生する。学業支援、安全安心、事業マーケティングが中心であるが、中には大会の映像インターネット配信があり利用できる項目と判断したので初年度より参画したい。

3 年以内に法人格取得という課題もあるが、組織活性の好機としたい。

予算¥200,000

別添資料参照

13 2018 年度 予算案

2019 年度会計幹事 根本 浩輔
表 12

14 その他

1) Final 応援の仕方

今年の JOC Junior Olympic Cup の Final で学生の応援する仕方が問題になり主催者から注意を受けた。

観客側から選手に向かって応援ではなく個人を揶揄するような言動があり、さらに学生が務める審判員にまで行動を茶化すようなことがあった。

本人とその責任者は関係者等に反省と謝罪をして一段落したが、このような事は再び繰り返してはならない。

審判には敬意を表し、選手には心からの応援をするように

2) AR 銃車内置き忘れ

11 月 12 日午前 10 時過ぎ、新宿発の京王線車内に AR 銃を置き忘れた事案が発生。銃は駅員から警察に引き渡され署内で保管。

本人は謹慎、射撃部は当面の間課外活動自粛。

持ち物は絶対に置き忘れないように

3) 所持許可更新忘れ時の虚偽申告

AR 銃の更新を忘れ、所轄担当官から聞かれた監督名を偽ったことで、警察からきつい叱責を受けた。自分の不祥事を監督に知られたくないためについた嘘だが、警察が調査すれば早晚露呈する。書類送検はされない。所持許可切れで銃は銃砲店預けとなった。

指導者は部員と信頼関係を築きように

最終頁